



かごパトくん

かごパトくん・さくらロールちゃんの

あんぜん通信

～「子ども110番の家」特集号～



さくらロールちゃん

知っていますか？「子ども110番の家」

ねえねえ、「子ども110番の家」
って、なーに？

お子さんと一緒に、確認しましょう。



えっとねー、うーん…
(なんだったっけ…?)

Q. 子ども110番の家とは、どのようなものですか？

A. 子供が犯罪等の被害にあったり、又はあいそうになった場合に

- 犯人(又は不審者)から逃れるための緊急避難所
- 警察への通報場所

として、商店や民家に対して、警察署が協力を依頼している施設のことです。



子どものミカタになってくれるところなんだね！



Q. 子ども110番の家は、どこにありますか？

A. 皆さんの学校の通学路を中心に設置されています。
黄色と緑色の、のぼり旗が目印です。⇒ ⇒ ⇒ ⇒



あっ、この「のぼり旗」、見たことあるよ！
通学路から見やすいところにあれば、登下校のときに覚えられるよね。



Q. どんなときに、利用すればいいですか？

A. 例えば、

- 下校中に、知らない人から「お菓子をあげるから、車に乗らない？」と声をかけられたとき
- 公園で遊んでいるときに、近くをウロウロしながらこちらを見ている人がいたとき

など、すぐに近くの「子ども110番の家」に駆け込んで、
・ いつ、どこで、誰が、どうした(どうされた)
・ 相手は、どんな人だった

ということを、知らせてください。
「子ども110番の家」の方が、すぐに警察へ通報してくれます。

※ 子ども110番の家が近くになかったら、学校、自宅、近くのお店などに駆け込みましょう。

日頃からお子さんと、「不審者にあつたとき、どうするか」を話し合っておきましょう。



もしものために、おぼえておこうね。

